



大槻の記

郡山市立大槻小学校
学校だより NO. 14号
令和5年12月12日
発行者：校長 坂牧広文

【日本一仲の良い学校を目指して】（異学年交流）

6年生の国語の学習で「みんなで楽しく過ごすために」という題材があります。そこで、「1年生との交流でどんな遊びをするか」ということについてグループごとに話し合い、実際に1年生との交流活動を行うことになりました。ドッジボールや鬼ごっこ、しっぽ取り、だるまさんが転んだ等、班によって遊びの内容を考え、1年生でも楽しめるようにと工夫しました。遊びの時は1年生の足の速さや動きに合わせて力を加減する等優しい姿がたくさん見られました。1年生は息を切らしながら、「6年生のしっぽをたくさん取ったよ。」「6年生にボール当てたよ。」と嬉しそうに話してくれました。

また、12月1日（金）には2年生が1年生を招待して「おもちゃまつり」を開催しました。1年生に喜んでもらうために、いろいろなおもちゃやプレゼントを作製したり、遊び方の説明を練習したり、一生懸命に準備しました。当日は、お兄さんお姉さんとして優しく教えてあげていました。

交流の後でも1年生が仲良くなった上級生に声をかけたり、一緒に遊んだりする姿が見られました。上級生と下級生が仲良くできるのが大槻小学校の良さですね。このまま「日本一仲の良い小学校」と子ども達が自慢できる学校になってほしいなと願っています。



【楽しかったね！大槻体育祭】

11月24日（金）に、すみれ・なのはな学級合同の体育祭を実施しました。元々は市内の支援学級全体で行っていた合同体育祭ですが、コロナ禍のため実施できなくなってしまい、校内で行うようになりました。学年ごとのかけっこや玉入れ、チャンス走などたくさんの種目があり、全力で取り組む姿が素晴らしかったです。中には親子で協力して参加する種目もあり、笑顔がたくさん見られました。「ドラえもん、どらやきどうぞ」の表彰では、お家の人にメダルをかけてもらい、皆とても嬉しそうでした。

保護者の皆様、お忙しい中ご協力ありがとうございました。おかげでとても楽しい1日になりました。

